

## 研究部会報告



### ●新社会システム●

#### ●第4回

日時：7月19日(金) 16:00~18:00

場所：石狩会館(札幌)

出席者：24名

テーマ：社会現象における意識データの意義と課題

講師：佐藤馨一(北海道大学工学部)

現代では、価値観の多様化により、単なるこれまでの行動結果のデータから将来の行動を予測することは困難になっている。このような状況のもとで社会現象を適切に予測するためには人間の意識にまでさかのぼってデータをとり、モデル化する必要がある。実際に交通計画に適用すると、きわめて良好な予測が得られた。

### ●政策科学(関西)●

#### ●第4回

日時：昭和60年8月3日(土) 14:00~16:30

場所：芦屋大学 福山記念館Bホール

出席者：21名

講演者および講演題目

(1) 講演「経営環境の変化と情報システム化の課題の変遷—日本鉄鋼業の事例—」

阿澄一寛(住金システム開発部)

(2) 事例紹介「パソコンによるアンケート調査支援システムの紹介」

有馬昌宏(神戸商科大学 管理科学科)

#### 要旨

(1) 日本の鉄鋼業、鉄鋼の生産プロセスの概要の紹介について、現在の鉄鋼業情報システムの構成と住友金属工業の和歌山製鉄所を例にとりながらコンピュータ構成がどのようにになっているかが説明された。さらに、経営環境が変化するにつれて鉄鋼業における情報システム化の課題がどのように変遷してきたかを、高度成長期、オイルショック後、高度情報化に区切って詳しく解説された。最後に、新規事業としての情報処理部門の果たす役割が述べられた。

(2) 氏他2名によって開発したマイコンによるアンケート調査支援システム「QUEST・PACK」の紹介であ

る。会場に用意されたマイコンでどのように対話形にデータの入力から解析まで容易に処理ができるかについてのデモンストレーションが行なわれた。

### ●トップ業務の創造的

### エキスパートシステム●

#### ●第3回

日時：7月17日(水)

テーマ：組織における人間の問題

講師：大川信明(東洋大)

#### ●第4回

日時：8月14日(水)

テーマ：時間の様相論理

講師：細井 勉(東理大)

#### ●第5回

日時：8月23日(金)

テーマ：家族の認知行動

講師：藪内 稔(学習院大)

#### ●第6回

日時：8月28日(水)

テーマ：expert system

講師：旭 貴郎(東洋大)

なお、5回、6回ともワーク「単身赴任決定過程にみる家族の認知行動のシステムの検討と、それを考慮した人事異動命令のエキスパートシステム設計の基礎理論作成」を3時間追加した。

### ●日本のシステム科学(研究グループ)●

#### ●第6回

日時：8月10日(土) 14:00~17:00

場所：八丁堀 東京都労務福祉会館

出席者：8名

テーマ：「システム科学のためのテトラレンマ立体まんだら思考法」の第3回

発表者：上田亀之助(上田イノベーション研究所)

人間がモノゴトについて「志的活動」を行なう場合に主要要素とかカテゴリー(圏)を何個とって「観感思行」するかを、モノレンマ・ディレンマ・トリレンマ・テトラレンマ等について考えてみた。特に、モノレンマ・ディレンマの危険とか不十分さ等にも言及した。